

具足塚古墳

ゲソクツカコフン



指定日：平成29年(2017)10月11日 種別：史跡

上ヶ原台地の西南端、御手洗川河畔の丘陵頂部に位置する。古くから天井石及び側壁石の一部が露出しており、古墳として認知されてきた。直径約17m以上、高さ約4m以上の円墳で、内部の横穴式石室は長さ8.75m、幅2.07mの規模である。築造年代は、6世紀後半とされる。墳丘は上半部が失われており、横穴式石室は平成7年（1995）に起こった兵庫県南部地震により天井石が内部に落下している。